

2024年度実需給に向けた準備状況

(参加者テスト、事業者向け説明会、小規模変動電源リストの対応等)

2024年2月28日

容量市場の在り方等に関する検討会事務局※

1. はじめに
2. 容量市場システムを利用した参加者テストの実施状況
3. 実需給期間に向けた事業者説明会等の状況
4. 小規模変動電源リストの対応

- 容量市場では、2024年4月より、初めての**実需給年度**を迎える。
- 実需給年度は、容量提供事業者と市場管理者である本機関との間で、**供給力の提供等に関する諸元登録や算定結果・帳票のやりとり**にあたり、**容量市場システムの利用**を予定している。
- この2月には、容量提供事業者（対象実需給年度：2024年度）を対象に、**容量市場システム（実需給期間向け機能）**を**先行的に利用した参加者テスト**を実施した。
- 参加者テストでは、アセスメント算定諸元の登録、アセスメント結果/経済的ペナルティ額・容量確保契約金額等の帳票確認など、**各事業者が一連の業務プロセスを模擬的に行いながら確認**を行った。
- また、**リクワイアメントに係る実務者説明会（第2回）**を1月に開催している。
- このあと、事業者向けの情報提供は、新たな年度に各事業者には担当者の交替もあることから、**3月～5月のタイミングにも、容量拠出金説明会や対面形式の制度概要説明会の開催を予定**している。
- 本日は、事業者との**実需給期間に向けた準備の取り組み**を報告するとともに、本検討会や国の審議会でご説明した、**小規模変動電源リストの対応の直近の状況**について報告を行う。

2. 容量市場システムを利用した参加者テストの実施状況

①概要

- 容量提供事業者（対象実需給年度:2024年度）を対象として、**実需給期間中の業務プロセスに関する容量市場システム利用の参加者テスト**を2月1日から2月22日の期間で実施した。
- 参加者テストは、容量提供事業者全社（対象実需給年度：2024年度）向けとして、本機関HPのお知らせのほか、容量市場システム経由で案内を行い、申込は約80事業者、参加テストの準備が整った**約70事業者が実際にシステム環境で操作や確認を模擬的に行った**。
- 具体的には、容量市場業務マニュアル※に記載されている実需給期間中の実務を中心に、2024年4月1日より正式運開予定の**容量市場システムの機能（実需給期間向け機能）を事前に利用しながら、実際の一連の業務を模擬的に行う運用方式**とした。
- また参加者テストの実施に先立って、**参加者テスト説明会**も1月18日・19日に開催し、69事業者・97名が参加している。
※「リクワイアメント対応編」および「ペナルティ・容量確保契約金額対応編」

容量市場における参加者テストの実施および説明会のご案内について

容量市場における参加者テストの実施および説明会の開催をご案内します。

これまで本機関では容量市場概要説明会・制度詳細説明会にて容量市場の制度概要・容量市場の実務についてご説明して参りましたが、今回、容量市場の実需給期間中業務を模擬的に行う参加者テストを実施いたします。

具体的には、容量提供事業者の皆さま（対象実需給年度:2024年度）を対象として、容量市場業務マニュアル（「リクワイアメント対応※編」および「ペナルティ・容量確保契約金額対応編」）に記載されている実務に係る内容について、2024年4月に運用開始予定の容量市場システムの機能を実践していただきます。

また、参加者テストに先立ちまして、実施内容についての説明会を実施いたします。

※安定電源・変動電源（単独）・変動電源（アグリゲート）・発動指令電源が対象です。

つきましては、対象となる容量提供事業者の皆さまにおかれましては、是非とも説明会にご参加をお願いいたします。

1.日時等

①説明会開催日時

2024年1月18日（木曜日） 16時00分～17時00分

2024年1月19日（金曜日） 16時00分～17時00分

※申込状況により、開催時刻を変更する場合がございます。

②参加者テスト実施期間

2024年2月1日（木）～22日（木）（予定）

※詳細は説明会にてご説明いたします。

①説明会	参加事業者数	参加者数
1月18日	40者	50名
1月19日	29者	47名
合計	69者	97名

②参加者テスト	実施事業者数
2月1日～2月22日	70者

2. 容量市場システムを利用した参加者テストの実施状況

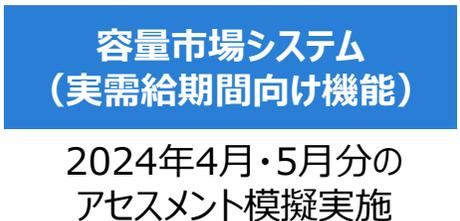
②具体的な実施内容

- 参加者テストでは、**参加者が容量市場システムを実際に操作し、実需給期間における業務運用手順の習熟、システム操作手順の理解を深めていただいた。**
- **例えば、模擬的に行うアセスメント対象期間を2024年度4月・5月の2か月間と設定し、テスト実施内容を適宜連絡を行いつつ、参加された事業者にも柔軟に対応いただきながら実施した。**

- ✓ エラー監視と対応
- ✓ 事業者QA対応
- ✓ アセスメント処理
- ✓ ペナルティ・容量確保契約金額の通知
- ✓ 支払通知書の通知



<参加者テストのイメージ>



- ✓ ログイン、操作手順の理解
- ✓ アセスメント算定諸元登録
- ✓ アセスメント結果の確認
- ✓ ペナルティ・容量確保契約金額の確認
- ✓ 支払通知書の確認

1. はじめに (本資料の目的と概要)

3

■ 本資料は、電力広域的運営推進機関 (以下「本機関」といいます) が、容量市場 参加者テストの目的等事前に参加者へご説明することで、参加者テストを円滑に推進することを目的としています。

■ 当該目的を踏まえ、本資料では参加者テストの目的やスケジュール、スコプ等を明確化します。

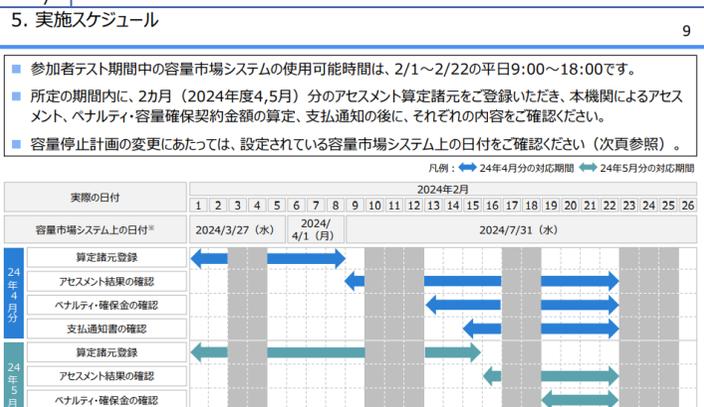
項目	概要
参加者テストの目的	参加者が容量市場システムを実際に操作することで、実需給期間における業務運用手順、およびシステム操作手順の理解を、更に深めていただくこと
前提条件	本来の業務スケジュールと異なり、異議申し立て期間を省略するなど、業務との差異が発生するため、複数の前提条件を設定
スコプ	容量市場における全リクワイアメントのうち、実需給期間中のリクワイアメントに対して、アセスメントを実施
実施スケジュール	2/1 (木) ~2/22 (木) の平日9:00~18:00、容量市場システムを使用して、アセスメント算定諸元の登録、およびアセスメント結果などの確認を実施
初期設定	参加者テストの最初に、容量市場システムのユーザ権限設定画面を利用して、各ユーザの権限設定、メール通知対象、アカウントロック対象を設定
アセスメント算定諸元の登録内容	容量市場業務マニュアルに沿って、各アセスメント算定諸元を登録
アセスメント結果の確認方法	容量市場業務マニュアルに沿って、各アセスメント結果を確認
ペナルティの確認方法	経済的ペナルティ算定結果通知書が発行された旨のメールを受領後、容量市場システムにアクセスし、帳票の内容を確認
支払通知書 (請求書) の確認方法	支払通知書 (請求書) が発行された旨のメールを受領後、容量市場システムにアクセスし、帳票の内容を確認
容量市場システムマニュアルの構成	容量市場システムの操作手順については、本機関HPに掲載のマニュアルを参照
Q&Aについて	参加者テストの期間中 (2/1~2/22) に限り、メールにて受付ただし、アセスメント、ペナルティ・容量確保契約金額の算定結果については、受付の対象外
参加者テスト実施後のアンケートについて	参加者テスト実施後、2/26~3/1にメールにてアンケートを受付

4. スコプ：アセスメントの対象となるリクワイアメント

■ 容量市場における全リクワイアメントのうち、実需給期間中のリクワイアメントに対して、アセスメントを実施

■ 各アセスメント算定諸元の登録内容については、7章をご参照ください。

容量を提供する電源等の区分	リクワイアメント	実需給前	実需給時	
安定電源	① 計画停止調整	容量停止計画の調整に対応すること	✓	
	② 余力活用に関する契約の締結	調整機能[有]登録した電源のみ、一般送配電事業者と余力活用に関する契約を締結すること	✓	
	③ 容量停止計画(日数カウント)【供給力の維持】	維持・運営等のために必要な一定の期間を超えて、電源の停止および出力低下しないこと		✓
	④ 市場応札(発電余力の卸電力取引所への入札)	発電余力を卸電力取引所市場等に申込すること		✓
	⑤ 電気の供給指示への対応	一般送配電事業者からの電気の供給指示があった場合、適切に対応すること		✓
変動電源(単独)	⑥ 計画停止調整	容量停止計画の調整に対応すること	✓	
	⑦ 容量停止計画(日数カウント)【供給力の維持】	維持・運営等のために必要な一定の期間を超えて、電源の停止および出力低下しないこと		✓
変動電源(アグリゲート)	⑧ 容量停止計画(日数カウント)【供給力の維持】	維持・運営等のために必要な一定の期間を超えて、電源の停止および出力低下しないこと		✓
	⑨ 実効性テスト	実効性テストにおいて容量確保契約容量以上の供給力を確保すること	✓	
発動指令電源	⑩ 発動指令への対応	一般送配電事業者からの発動指令があった場合、適切に対応すること		✓



2. 容量市場システムを利用した参加者テストの実施状況

③参加者テストの振り返り

- 2月1日に参加者テストを開始して容量市場システムを解放した当初に、「**ログインができない**」という**事業者の問合せ**が多く発生した。要因は、クライアント証明書に係るものや、事業者のネット環境の制約などであったため、**内容を確認しながら対応方法をやり取りし順次ログインを可能**としている。
- ログインエラー以外にも、各プロセスを進める中でもエラーが複数件発生したものの、スケジュールに大きな影響はなく、**予定通りの期間で全行程を完了**した。
- なお、発生したエラーには、事前に**想定していた登録エラー等の内容以外の事例**もあり、実需給期間に向けた**市場運営の知見を得られる機会**となり、その対策をあらかじめ行うことができた。
- 参加者テスト終了後、**参加した事業者へアンケートで確認**を行っており、頂いた意見を踏まえながら、実需給期間に向けた運用の準備をさらに進めていく。

13. 参加者テスト実施後のアンケートについて (1/2)

47

- 今後の運用改善を目的として、任意でアンケートのご回答にご協力いただけますようお願いいたします。
- なお、本アンケートはご意見として承りますため、ご質問への回答は致しません。

アンケート受付期間	参加者テスト実施後、2/26～3/1
アンケート窓口※	youryou_system_test@occto.or.jp
アンケートのメール件名	【容量市場 参加者テスト実施後アンケート 企業/団体名】
アンケートのメール本文	企業/団体名・氏名・メールアドレス・電話番号
アンケートの添付ファイル	ご意見内容を記載したExcelファイル ※テンプレートあり（次頁参照：後日掲載予定）

※参加者テスト実施後のご質問については下記の容量市場に関するお問い合わせ窓口へお願いいたします。
容量市場に関するお問い合わせ連絡先：youryou_inquiry@occto.or.jp

13. 参加者テスト実施後のアンケートについて (2/2)

48

- 本機関にて作成するテンプレート（Excelファイル）にご回答をご記入の上、メールに添付してください。
- アンケートのExcelテンプレートは、参加者テストが開始されましたら参加者テストのお知らせページに掲載します。

容量市場（実需給期間向け）参加者テスト実施後アンケート				電力広域的運営推進機関
2024/2/26～3/10期間中、アンケートメール送信先窓口[youryou_system_test@occto.or.jp]にて、ご返信ください。				2024/3/18
記入日	企業/団体名			
#	設問	ご回答（選択式）	ご回答の満足（自由記述式）	
1	容量市場における実需給期間業務の運用手順に対して、十分理解できましたか？	4段階評価 (不十分 1<2<3<4 十分)	左記の回答が4以外の場合は理由など	
2	容量市場システムにおける実需給期間向け機能の操作手順に対して、十分理解できましたか？	4段階評価 (不十分 1<2<3<4 十分)	左記の回答が4以外の場合は理由など	
3	今回の参加者テストに対して、満足度もお聞かせください。また、ご回答が4以外の場合、以下の設問にご回答ください。	4段階評価 (不満 1<2<3<4 満足)	-	
4	事前の参加者テスト説明会での説明は十分でしたか？	Yes or No	左記の回答がNoの場合は理由など	
5	業務マニュアルの記載内容が分かりましたか？	Yes or No	左記の回答がNoの場合は理由など	
6	容量市場システムでマニュアルの記載内容が分かりましたか？	Yes or No	左記の回答がNoの場合は理由など	
7	参加者テストの期間は十分でしたか？	Yes or No	左記の回答がNoの場合は理由など	
8	事前の説明会から参加者テスト開始までの期間は十分でしたか？	Yes or No	左記の回答がNoの場合は理由など	
9	容量市場システムは使い易かったですか？	Yes or No	左記の回答がNoの場合は理由など	
10	問い合わせの回答内容は十分でしたか？	Yes or No	左記の回答がNoの場合は理由など	
11	問い合わせの回答までの期間は適切でしたか？	Yes or No	左記の回答がNoの場合は理由など	
12	その他、ご要望などございましたら、お聞かせください。	-	ご要望の内容など	

3. 実需給期間に向けた事業者説明会等の状況

①実需給期間に向けたリクワイアメント等に係る状況と今後の予定

- 実需給期間のリクワイアメントやアセスメントに係る業務について、容量提供事業者（発電事業者等）が行う実務内容の理解を深めていただくため、2023年度の**第2回目となるリクワイアメント等の実務説明会**を1月18日と19日に開催した。
- このあと、参加者テストで得た知見も反映しながら、容量提供事業者に向けて、3月頃に「**容量市場システム（実需給期間向け機能）マニュアル※**」の公表を予定している。
※参加者テストにおいては暫定版のシステムマニュアルを公表し対応。

<リクワイアメント関連のマニュアル公表・説明会等のスケジュール>

項目	時期	主な内容や予定
業務マニュアル（案） 意見募集	8月10日～ 9月8日	・リクワイアメント/ペナルティ・容量確保契約金額の実務に係る業務マニュアル（案）の意見募集の実施
実務説明会 （第1回目）	8月29日,31日	・リクワイアメント/ペナルティ・容量確保契約金額の実務に係る実務説明会の実施
業務マニュアル 策定・公表	11月29日	・リクワイアメントの実務に係る業務マニュアルの公表
実務説明会 （第2回目）	1月18日,19日	・これまでの説明会での質疑や、業務マニュアルの意見募集の内容をもとに、8月に実施した第1回目の説明資料を更新
参加者テスト説明会	1月18日,19日	・2月の参加者テスト実施内容の説明
参加者テスト	2月1日～22日	・容量市場システム追加機能事業者参加型テスト実施
容量市場システムマニュアル の公表	3月頃予定	容量市場システム（実需給期間向け機能）のマニュアル(正式版)の公表 ※参加者テストでは暫定版を公表し対応

3. 実需給期間に向けた事業者説明会等の状況

②リクワイアメント等の説明会の開催状況

- 1月18日と19日の説明会は、「**リクワイアメント/ペナルティ・容量確保契約金額対応の実務説明会**」の内容で開催し、第1回目（8月開催）の実務説明会資料をアップデートした（業務マニュアルの意見募集結果の反映等を実施）。
- 説明会には**56者76名に参加**いただき、説明会資料や動画を本機関HPで公表している。

<参加状況>

開催日	1/18	1/19	合計
事業者数	31者	25者	56者
参加者数	41名	35名	76名

(参考) 第1回（8月開催）：79者 94名

第1回～第2回の実務説明会の参加：のべ135者 170名



説明会資料

容量市場 事業者向け説明会
(リクワイアメント対応)
(対象実需給年度：2024年度)

2024年1月
電力広域的運営推進機関

説明会資料

容量市場 事業者向け説明会
(ペナルティ・容量確保契約金額対応)
(対象実需給年度：2024年度)

2024年1月
電力広域的運営推進機関

- 実務説明会資料（リクワイアメント対応）対象実需給年度：2024年度（第2回目）

https://www.occto.or.jp/market-board/market/oshirase/2023/files/202401_youryou_jitsujukyu_setsumeikai2_requirement.pdf

- 説明動画（閲覧パスワード:XskU2Uiy）

<https://occto.webex.com/recordingservice/sites/occto/recording/playback/687430fc976e103cbfdd367e1380493a>

- 実務説明会資料（ペナルティ・容量確保契約金額対応）対象実需給年度：2024年度（第2回目）

https://www.occto.or.jp/market-board/market/oshirase/2023/files/202401_youryou_jitsujukyu_setsumeikai2_penalty_youryoukakuhokeyakukingaku.pdf

- 説明動画（閲覧パスワード:TgMTmj9J）

<https://occto.webex.com/recordingservice/sites/occto/recording/playback/dbae867f97b9103c8f1c9e7d6588e870>

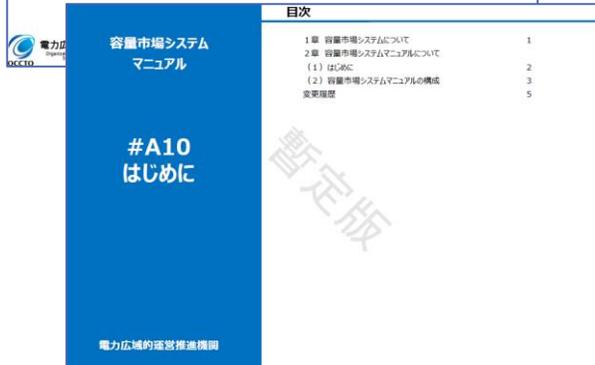
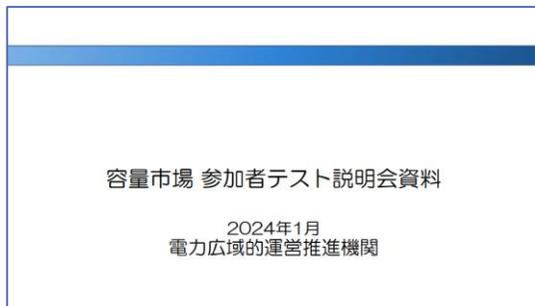
3. 実需給期間に向けた事業者説明会等の状況

③参加者テスト説明会の開催状況

- 1月18日と19日に開催した**参加者テストの説明会**では、参加者テストの実施容量を中心に説明し、参加者テストを予定する事業者を中心に**69者97名に参加**いただいた。
- 説明会資料・説明動画については本機関HPで公表し、**容量市場システム（実需給期間向け機能）マニュアル**は説明会で暫定版を提供し、正式版を3月に公開予定としている。

<参加者テストの説明会開催状況>

開催日	1/18	1/19	合計
事業者数	40者	29者	69者
参加者数	50名	47名	97名



- 容量市場（実需給期間向け）参加者テスト説明会資料

https://www.occto.or.jp/market-board/market/oshirase/2023/files/202401_youryou_jitsujukyu_setsumeikai_sankasha_test.pdf

- 説明動画（閲覧パスワード:Te35F5JA）

<https://occto.webex.com/recordingservice/sites/occto/recording/playback/298771e097fd103cbfd722b4bf126fe4>

- 容量市場システム（実需給期間向け機能）マニュアル暫定版※

https://www.occto.or.jp/market-board/market/oshirase/2023/files/202401_youryou_jitsujukyu_setsumeikai_sankasha_test_youryou_systemmanual_zanntei.zip

※正式版は実需給期間開始前の3月公表予定

3. 実需給期間に向けた事業者説明会等の状況

④実需給期間に向けた容量拠出金に係る状況と今後の予定

- 容量拠出金関連については、今年度は容量拠出金の内容に絞った「**容量拠出金説明会**」を**3回の時期に分けて計6回開催し、のべ約1,000名に参加**いただいている。
- 容量拠出金の取引内容の実務まで理解を深めていただくため、引き続き、**次回の容量拠出金説明会を3～4月頃に開催予定**している。
- 日程等の情報は、詳細が決まり次第HP等でお知らせする。

<容量拠出金関連の説明会等のスケジュール>

項目	時期	主な内容や予定
容量拠出金説明会（第1回目）	6月27日,29日	・容量拠出金の概要/算定方法、概算シミュレーションについて ・容量拠出金の取引の性質や税務処理について
容量拠出金 実務説明会	8月29日,31日	・容量拠出金に係る帳票確認方法などの実務について
容量拠出金説明会（第2回目）	9月26日,28日	・第1回(6月開催)の内容と、更新内容（8月実務説明会の内容含む）
容量市場の概要説明会 東京以外での開催	11月29日,30日 12月4日,6日	・容量市場の制度概要と、容量拠出金、実需給期間のリクワイアメント等の説明会を対面で実施
容量拠出金説明会（第3回目）	12月5日,7日	・仮請求額通知書の発行内容を説明 ・第2回（9月開催）の内容と、それ以降の更新内容
容量拠出金 仮請求額 通知書（年間総額）の発行	12月18日	・実需給2024年度の容量拠出金仮請求額（年間総額）を発行
容量拠出金説明会（第4回目）	3月頃予定	(予定)・インボイス制度に係る対応の再周知、託送契約電力kWの扱い、事業者登録内容変更時の対応、など
容量拠出金説明会 (2024年度第1回目)	4月頃予定	(予定)・第4回（3月開催）の内容と、それ以降の更新内容

3. 実需給期間に向けた事業者説明会等の状況

⑤容量市場の概要説明会 東京以外での開催状況と今後の予定

- 2023年度は、容量市場の制度概要説明会を、11月～12月および2月に、計5箇所の経済産業局で開催した。
- **対面方式で開催し、5会場で83者・129名に参加いただいた。**
- 各事業者には幅広い観点から制度概要の理解を深めていただくため、このような説明会を継続的に行うことを考えている。**次回の制度概要説明会の開催を4～5月に予定**している。
- 開催会場や日程等の情報は、詳細が決まり次第HP等でお知らせする。

<容量市場の制度概要説明会 開催状況>

会場	開催日	参加事業者数	参加者数
近畿経済産業局	11月29日	31者	43名
北海道経済産業局	11月30日	11者	20名
中国経済産業局	12月4日	17者	28名
四国経済産業局	12月6日	8者	14名
東北経済産業局	2月9日	16者	24名
	合計	83者	129名



3. 実需給期間に向けた事業者説明会等の状況

⑥WEBサイトによる情報提供 容量市場かいせつスペシャルサイトのリニューアル

- 「容量市場かいせつスペシャルサイト」では、長期脱炭素電源オークションの特設ページの開設に続き、**容量拠出金の特設ページを12月に開設**した。
- 新たな情報の追加や、さまざまな問合せも反映しつつ、簡潔に分かりやすい情報発信を行うため、「**容量市場かいせつスペシャルサイト**」では、**ページ構成のアップデート**を2～3月に予定している。
- 今後も、事業者向け説明会の開催とあわせて、説明会資料や業務マニュアルの提供、WEBサイトによる制度ポイントの情報発信を組合せ、容量市場の情報提供・発信に取り組んでいく。

<容量市場かいせつスペシャルサイト>



<TOPページや構成の変更後（予定）>



■ 2023年9月の第50回本検討会において、小規模変動電源リストの対応状況について状況のご報告を行った。

3. 今年度のメインアクションに向けた状況 小規模変動電源リストの算定式誤りについて

12

第50回容量市場の在り方等に関する検討会資料より

- 変動電源（アグリゲート）の電源等情報の登録の際に提出いただく「小規模変動電源リスト」の様式の小数点以下の扱いに誤りがあることが判明しました。
 <誤りの内容>・「設備容量合計」の算定式における端数処理
 ・「設備容量」の入力欄における小数点以下の入力桁数
- この誤りにより、「設備容量の合計値が正しく算定されない」ケースがあることが確認されました（対象実需給年度は2024～2027年度）。
- なお、対象実需給年度2027年度向けの対応としては、**2023年8月31日に当該問題を修正した様式を公表**し、事業者様にはリストの差替についてご対応いただいております。
- 本日は、取り急ぎ現時点での状況をご報告し、対象実需給年度2024～2026年度向けの対応については、後日ご報告いたします。

小規模変動電源リスト		発電方式の区分毎の「設備容量合計」	
一般*	1,111	一般*	1,111.1
風力*	2,222	風力*	2,222.2
太陽光*	3,333	太陽光(全量)	3,333.3
合計	6,666	合計	6,666.6

<端数処理>
 正：小数第一位を切り捨て
 ex. 2,345.6 → 2,345
 誤：一の位を切り捨て
 ex. 2,345.6 → 2,340

<入力桁数>
 正：小数第一位まで
 誤：小数第二位より下位
 ※様式には入力制限を設けているが、値を貼り付けると入力できてしまう。

リソース毎の「設備容量」

- 今回の事象の取扱いについて、第88回制度検討作業部会で整理を行い、この考え方をもとに、対象となる容量提供事業者と広域機関との間で誠実に協議を行うものとされた。

ケース	付随する状況	対応
本来の期待容量が増加する	応札容量よりも本来応札できる容量が大きくなる	契約容量を増加させるかの意向を事業者へ確認し、増加する意向が示されれば、契約容量を増加する
本来の期待容量が減少する	本来存在しない容量に対して、容量確保契約金額の支払いと容量抛出金の負担が発生することになる	契約容量を減少する

- 現在、本機関から対象となる事業者様へ連絡を行い、上記方針に基づいて協議を進めている。

小規模変動電源リストの算定式の修正に伴う契約済の容量の取り扱い

- 小規模変動電源リストの算定式の修正に伴い契約容量に影響があった容量提供事業者の中には、**修正後の期待容量が増加するケース、減少するケースがある**ため、それぞれについて公正な取扱いを整理する必要がある。
- **修正後の期待容量が増加するケース**では、応札容量よりも本来応札できる容量が大きいため、電力広域的運営推進機関が契約容量を増加するかどうかの意向を事業者へ確認し、**増加する意向が示されれば、契約容量の変更に応じることが適切**ではないか。
- **修正後の期待容量が減少するケース**では、**本来存在しない容量についても容量対価の支払いが発生**する。容量確保契約自体は締結済みであることから、電力広域的運営推進機関が当該契約に基づき対価を提供することも考えられる。しかし、**本来存在しない容量に対する容量抛出金負担の発生は避けるべきという観点**では、修正後の期待容量まで**契約容量を減少する対応**が適切といえるのではないか。
- 以上のような考え方を基本的な姿勢として、**電力広域的運営推進機関は契約容量の取り扱いについて容量提供事業者との間で誠実に協議を行うこと**としてはどうか。

第88回 制度検討作業部会資料より